

令和6年度 自己評価報告書

令和 7年 4月 1日

太田東保育園

1. 本園の教育・保育理念、教育・保育目標

『教育・保育理念』

「信（信仰・信念）・誠（誠意・責任感）・敬（尊敬・人権尊重）・愛（慈悲・愛情）」を四眼目とした保育を行う。

すべての子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、愛護するとともに最善の利益を守り、子育ての負担感の緩和を図り安心して子育て子育てができる環境を整える。

『教育・保育目標』

生命の安全を守れる基本的な習慣を身につける

「つよいからだ」「やさしいきもち」「すなおなこころ」

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

『目標』

自園の教育・保育理念、教育・保育目標を全職員が理解する。

『基本的な習慣』を見直し丁寧な関わりを心掛ける。

活発な意見交換をし、質の高い教育・保育を目指す。

『計画』

・“太田東保育園の職員像” を常に意識しながら職にあたる。

“柔軟な考え” “考動” を実践する。

・園内研修、外部研修の充実を図る。

・行事ごとに企画担当者を決め会議を持つ

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育・保育理念、教育・保育目標の理解のための園内研修	B	職員勉強会で“太田東保育園の職員像”を読み合わせ再確認し共通理解を図る。「ベシックスシート」を活用し一人一人が自らを評価し振り返る。それをもとに園長との面談を行った。
2	教育・保育の質の向上のための園内研修	A	4月 理事長講話「基本的生活習慣を大切に する保育を心掛ける」 5月 勉強会「感染症・クラス運営」について 6・10月 “群馬県幼稚園教育課程等研究協議会

			6月 “救命講習” 東部消防署 7月 法人研修「なかよし幼稚園公開保育」 8月 法人研修「連携事業報告」 9月 勉強会「体調不良児について」 10月 法人研修「主任研修」阿部先生 3月 法人研修「でこぼこ保育園視察」 ＊理事長先生との話し合い
3	マニュアルの見直し	B	運営や教育・保育に沿うようにマニュアルを見直した。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
B	＊ 年度当初の若林泰明理事長からの「基本的生活習慣を大切にする保育を心がける」ようにとの講和があり、規則正しい生活を意識し保育に組み入れた計画を立てた。メリハリのある生活が子どもたちにも根付く一年となった。保護者にも生活習慣を見直す言葉掛けをした。 ＊ なかよし幼稚園との年長児交流事業では、職員もウエブ会議で7月、9月、10月、12月に事前打合わせを実施し、計画を立案し両園を訪問し合い交流を図ることができた。10月にはサッカー大会を実施し、更に交流を深めることができた。 ＊ 法人研修を多く持つことで広い視野が持てるようになってきている。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組むべき課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	研修・研究	法人研修を始め丁寧な関わりについて勉強会を重ね、外部講師（阿部先生）を招いて更なる質の向上に努め職員同士で情報を共有する。
2	マニュアルの見直し・作成	作成したマニュアルを見直し、より使いやすいものにしていく。

6. 財務状況

県・市の指導監査により、適正に運営されていると認められている。
